

政  
政  
政  
藝  
思  
潮  
史

名  
瑞  
之  
都

希  
帆  
研

本間文庫  
文庫 14  
A 112  
5



文庫14  
A112  
5



各  
部

第一章

レニズム (ギリシア思想)

(一) ギリシアの政治史的年代

自ララス (Akkad) と呼んでる國、まゝ後世ローマ人によつて

~~グレチ~~ グレチー (Graecia) と呼ばれ、民族の國の昂

チギリシアである。言法はアリアン

(Arian) 系の人種は、<sup>その</sup> 混合的であつて、

その (A Companion to Greek Studies), edit. by

2. Whitley, II Chronology by R. D. Hicks,

P. 5-1) ~~by~~ 國の政治史の始を何年代

に置るかに然るは種々の見方があるが、普通是づ

の最も著明且重大な事件としてこの紀元前

年後に起すこと。この戦争を一つの

限界と見る。此以後の事蹟は

東のギリシアの政治史の

一個體としてこれをいふに

の事蹟は、此の國民的基礎を

了するものとして、漸くその

事蹟の終つたものとして、

戦事、ホーマーの大叙詩イリアッド (Iliad)

の描くトロイ戦争

一等の時代の這入り、全史歴史の範圍から出

てしまふ (イリアッドが歴史的事實を合せて

めるといふ筈) には後に述べる) トロイ戦争が

何年代にあつて、ホーマーが何年代に生

やう

かつてある人であるが、~~...~~ 到る程度に...  
 とあるが、~~...~~  
 シアと...の...の...  
 かま...  
 映...  
 的...  
 は...  
 ホーマーの...  
 ア...  
 あ...

以前の...  
 史以前期である。  
 一期を...  
 たり...  
~~...~~  
~~...~~  
~~...~~  
 以前...  
 減...  
 以前...  
 了... (Mycenae) ...

世紀とする迄に従一歩だけ進み、  
 飛鳥以前までの一段落であつたことを見らる。  
 蓋し、  
 當時北方から種々の小  
 民族が中央正南方のギリシアに降つて来たこと、  
 小民族河の角家の移動が絶えなかつたこと、  
 遂にドーリア (Doria) 民族の南下が、  
 アイオリア (Aeolia) 民族 アイオニア (Jonio)

民族の再編成の大移住が起つた。ナホの  
 やつ、十一世紀の終り、十一世紀の初め頃  
 である。而して移住以後ギリシアの民族の  
 移動が止んで、ほぼ各民族の方域が定まつ  
 た。  
 to Greek Studies "pp. 41, 54" (A. Companion  
 族、つらと言ふ、アイオリア民族は中央に  
 北方に、アイオニア民族は東方に、ドーリア

民族は南方に居る占めるに異ならず。彼の三  
 民族の定住地ギリシアの歴史に於て重大なる  
 意義を有してゐる。イオリアは後のローマの  
 ス (Italia) 人の國であり、アオニアはアゼシス  
 (Athena) 人の國であり、ドーリアはスパルタ  
 (Sparta) 人の國であり。殊にアオニアと  
 スパルタとはギリシア民族の精華  
 文藝兩端を代表する。やがて他往するところ  
 である。

~~ギリシア民族の地位がやがて中世の大~~  
~~の基礎が据えられ、やがてこの中世の~~  
~~のむち~~  
 べきの事情を綜合して見ると、中世のギリシア  
 世紀のギリシア世紀に於てこの一時期がその  
 ついで一世紀であつて、ギリシアの真の歴史  
 は十世紀以後を其準備時代とするべきであ  
 る。即ち中世のギリシア民族

移住 (Danian Migration) 2nd & 3rd

ルニア 我軍の... ~~...~~

~~...~~

第二期 ~~...~~

~~...~~ Muscovy

~~...~~

第一期 ~~...~~

諸民族 中の 強者が 各自の

種々の 政治 行つてゐる。 其中では トーニア

民族 ~~...~~ 最も ~~...~~ 活動して、スベリ

人と 其盟主の やうな 地位に 立つてゐる。 だが

二期に 入つて 形勢を 変へす のである。

二期は 紀元 前 2世紀 から 紀元 前 1世紀

の ~~...~~ (Muscovy) の

~~...~~ 加主権を 握る 諸



まひをき。直~~に~~はじめてアシアから信

入るこまきこい。にアッパ~~の~~大勢力を

ぶっころんぱを代表するギリシアの勢力と衝突し

て入るにア我軍を誘った~~た~~のは、<sup>オスマン</sup>オスマン

ギリシア~~の~~をこの国民の~~の~~結合と自覚

を~~す~~めるとの六に其燦爛たる光を呈せし

~~め~~初めに~~の~~初めに

あらた。即こけ我軍がギリシア人きり帯

おこす外~~の~~帯を~~め~~も共に、其中心

勢力~~の~~アセンス人である

→~~は~~ラソン (Munich) の陸軍~~が~~カラス

(<sup>組</sup>Stamnis) の~~は~~た~~の~~十餘年~~の~~大

我軍で~~の~~にア人~~を~~撃退すると共に、~~の~~

~~の~~ギリシア諸民族の~~の~~覇権はアセ

ンス人~~の~~野し、~~の~~前後~~の~~年~~の~~あり

が~~の~~アセンス~~の~~時代~~に~~出現~~し~~て。

け~~の~~代~~の~~にアセンス~~の~~時代~~に~~ありのみならず、

ギリシア文明の絶頂に達し、時代で、政治家の  
クリリス (Pericles ~~d. 429 B.C.~~) の手腕

に依るものと稱せらるる。ギリシアの歴史は以て  
代に代下つて、けだ代々書きつづきつづきといふ位で  
あり。このクリリスの死と共に勳業はしめし、暫  
く沈海し、このスルタ人が再び起つて  
アゼニスと覇権を争つた。これを「~~ペロポネ~~  
十年に及ぶもの」といふ。ペロポネ (Pelopon-

nes) の戦は二十七年間ついにギリシアの  
力を疲弊せしめ、~~ペロポネ~~ 諸島や木  
~~ペロポネ~~ スルタ人の勝利に歸し、  
~~ペロポネ~~ アゼニスは政治に  
お退いて、大熱意の上により、~~ペロポネ~~ 新を放つやう  
になつた。併し、~~ペロポネ~~ 三十年の  
シーブス人が ~~ペロポネ~~ 権を

その権力軍とヤリ、紀元前の七百年の敘叙  
でシロガス人の覇権を奪はんと。斯レニ  
アゼニス、スピルタ、シロガスと夫の三民  
族が連次に~~相争~~ 覇を争ふと共に、  
民力増益は荒~~の~~廢して、殊シロガスの晩年  
スピルタとの~~相争~~ 争闘やも時なく遂に~~に~~なるこ  
十一年ギリシアの~~相争~~ 覇を~~争~~ 覇を  
マセドニア人の業が  
此となつて

政治は七びくの~~を~~ である。之も~~の~~ 二期の終り  
とす。

マセドニアマセドニア時代で、今まで~~の~~ギリシア本  
部の歴史には千餘の組かつて北方民族マセドニア  
アングスフリンツク (Phylippus) — 336 B.C.  
の所に侵入し東つてギリシアを支配し~~た~~ 其子  
マセドニア~~の~~ 國を建造して~~た~~ 其子マセド  
ンター大帝 (Alexander the Great)

356-323 B.C.) ~~アケメネス~~ の世界征服

の大望を抱いて死んで共々に ~~アケメネス~~

~~アケメネス~~ 大と見えし ~~アケメネス~~ 國は ~~アケメネス~~

再び ~~アケメネス~~ 一 ~~アケメネス~~ 國は ~~アケメネス~~ 有力の將軍

牙の手に分割せし ~~アケメネス~~ 中

てもギリシア ~~アケメネス~~ 本部は久しい争鬭の末

~~アケメネス~~ 的聯邦的政治の下に遂

に ~~アケメネス~~ 人のおに ~~アケメネス~~ は ~~アケメネス~~

~~アケメネス~~ (Achaea) ~~アケメネス~~

~~アケメネス~~ と呼ばるに

る ~~アケメネス~~ 古代史の花と立

て ~~アケメネス~~ は ~~アケメネス~~ の如く ~~アケメネス~~

併し 眞精神史は永久の

政治史 ~~アケメネス~~ に ~~アケメネス~~ 断之から ~~アケメネス~~

展開して行し

(一) ギリシアの精神的年代

ギリシアの文藝学術の歴史も普通用は三期に分けし、カ一期、ブルリア戦争以前、カ二期、アゼニス全盛時代よりマセドニア帝の終まで、カ三期マセドニア分裂よりマに征服せらるまでと子風に見す。併し之は今少く精しく分けし見るから便利である。マは

~~カ一期の歴史~~ ~~カ二期の歴史~~ ~~カ三期の歴史~~ ~~カ四期の歴史~~ ~~カ五期の歴史~~ ~~カ六期の歴史~~ ~~カ七期の歴史~~ ~~カ八期の歴史~~ ~~カ九期の歴史~~ ~~カ十期の歴史~~ ~~カ十一期の歴史~~ ~~カ十二期の歴史~~ ~~カ十三期の歴史~~ ~~カ十四期の歴史~~ ~~カ十五期の歴史~~ ~~カ十六期の歴史~~ ~~カ十七期の歴史~~ ~~カ十八期の歴史~~ ~~カ十九期の歴史~~ ~~カ二十期の歴史~~ ~~カ二十一期の歴史~~ ~~カ二十二期の歴史~~ ~~カ二十三期の歴史~~ ~~カ二十四期の歴史~~ ~~カ二十五期の歴史~~ ~~カ二十六期の歴史~~ ~~カ二十七期の歴史~~ ~~カ二十八期の歴史~~ ~~カ二十九期の歴史~~ ~~カ三十期の歴史~~ ~~カ三十一期の歴史~~ ~~カ三十二期の歴史~~ ~~カ三十三期の歴史~~ ~~カ三十四期の歴史~~ ~~カ三十五期の歴史~~ ~~カ三十六期の歴史~~ ~~カ三十七期の歴史~~ ~~カ三十八期の歴史~~ ~~カ三十九期の歴史~~ ~~カ四十期の歴史~~ ~~カ四十一期の歴史~~ ~~カ四十二期の歴史~~ ~~カ四十三期の歴史~~ ~~カ四十四期の歴史~~ ~~カ四十五期の歴史~~ ~~カ四十六期の歴史~~ ~~カ四十七期の歴史~~ ~~カ四十八期の歴史~~ ~~カ四十九期の歴史~~ ~~カ五十期の歴史~~ ~~カ五十一期の歴史~~ ~~カ五十二期の歴史~~ ~~カ五十三期の歴史~~ ~~カ五十四期の歴史~~ ~~カ五十五期の歴史~~ ~~カ五十六期の歴史~~ ~~カ五十七期の歴史~~ ~~カ五十八期の歴史~~ ~~カ五十九期の歴史~~ ~~カ六十期の歴史~~ ~~カ六十一期の歴史~~ ~~カ六十二期の歴史~~ ~~カ六十三期の歴史~~ ~~カ六十四期の歴史~~ ~~カ六十五期の歴史~~ ~~カ六十六期の歴史~~ ~~カ六十七期の歴史~~ ~~カ六十八期の歴史~~ ~~カ六十九期の歴史~~ ~~カ七十期の歴史~~ ~~カ七十一期の歴史~~ ~~カ七十二期の歴史~~ ~~カ七十三期の歴史~~ ~~カ七十四期の歴史~~ ~~カ七十五期の歴史~~ ~~カ七十六期の歴史~~ ~~カ七十七期の歴史~~ ~~カ七十八期の歴史~~ ~~カ七十九期の歴史~~ ~~カ八十期の歴史~~ ~~カ八十一期の歴史~~ ~~カ八十二期の歴史~~ ~~カ八十三期の歴史~~ ~~カ八十四期の歴史~~ ~~カ八十五期の歴史~~ ~~カ八十六期の歴史~~ ~~カ八十七期の歴史~~ ~~カ八十八期の歴史~~ ~~カ八十九期の歴史~~ ~~カ九十期の歴史~~ ~~カ九十一期の歴史~~ ~~カ九十二期の歴史~~ ~~カ九十三期の歴史~~ ~~カ九十四期の歴史~~ ~~カ九十五期の歴史~~ ~~カ九十六期の歴史~~ ~~カ九十七期の歴史~~ ~~カ九十八期の歴史~~ ~~カ九十九期の歴史~~ ~~カ百期の歴史~~ ~~カ百一期の歴史~~ ~~カ百二期の歴史~~ ~~カ百三期の歴史~~ ~~カ百四期の歴史~~ ~~カ百五期の歴史~~ ~~カ百六期の歴史~~ ~~カ百七期の歴史~~ ~~カ百八期の歴史~~ ~~カ百九期の歴史~~ ~~カ百十期の歴史~~ ~~カ百十一期の歴史~~ ~~カ百十二期の歴史~~ ~~カ百十三期の歴史~~ ~~カ百十四期の歴史~~ ~~カ百十五期の歴史~~ ~~カ百十六期の歴史~~ ~~カ百十七期の歴史~~ ~~カ百十八期の歴史~~ ~~カ百十九期の歴史~~ ~~カ百二十期の歴史~~ ~~カ百二十一期の歴史~~ ~~カ百二十二期の歴史~~ ~~カ百二十三期の歴史~~ ~~カ百二十四期の歴史~~ ~~カ百二十五期の歴史~~ ~~カ百二十六期の歴史~~ ~~カ百二十七期の歴史~~ ~~カ百二十八期の歴史~~ ~~カ百二十九期の歴史~~ ~~カ百三十期の歴史~~ ~~カ百三十一期の歴史~~ ~~カ百三十二期の歴史~~ ~~カ百三十三期の歴史~~ ~~カ百三十四期の歴史~~ ~~カ百三十五期の歴史~~ ~~カ百三十六期の歴史~~ ~~カ百三十七期の歴史~~ ~~カ百三十八期の歴史~~ ~~カ百三十九期の歴史~~ ~~カ百四十期の歴史~~ ~~カ百四十一期の歴史~~ ~~カ百四十二期の歴史~~ ~~カ百四十三期の歴史~~ ~~カ百四十四期の歴史~~ ~~カ百四十五期の歴史~~ ~~カ百四十六期の歴史~~ ~~カ百四十七期の歴史~~ ~~カ百四十八期の歴史~~ ~~カ百四十九期の歴史~~ ~~カ百五十期の歴史~~ ~~カ百五十一期の歴史~~ ~~カ百五十二期の歴史~~ ~~カ百五十三期の歴史~~ ~~カ百五十四期の歴史~~ ~~カ百五十五期の歴史~~ ~~カ百五十六期の歴史~~ ~~カ百五十七期の歴史~~ ~~カ百五十八期の歴史~~ ~~カ百五十九期の歴史~~ ~~カ百六十期の歴史~~ ~~カ百六十一期の歴史~~ ~~カ百六十二期の歴史~~ ~~カ百六十三期の歴史~~ ~~カ百六十四期の歴史~~ ~~カ百六十五期の歴史~~ ~~カ百六十六期の歴史~~ ~~カ百六十七期の歴史~~ ~~カ百六十八期の歴史~~ ~~カ百六十九期の歴史~~ ~~カ百七十期の歴史~~ ~~カ百七十一期の歴史~~ ~~カ百七十二期の歴史~~ ~~カ百七十三期の歴史~~ ~~カ百七十四期の歴史~~ ~~カ百七十五期の歴史~~ ~~カ百七十六期の歴史~~ ~~カ百七十七期の歴史~~ ~~カ百七十八期の歴史~~ ~~カ百七十九期の歴史~~ ~~カ百八十期の歴史~~ ~~カ百八十一期の歴史~~ ~~カ百八十二期の歴史~~ ~~カ百八十三期の歴史~~ ~~カ百八十四期の歴史~~ ~~カ百八十五期の歴史~~ ~~カ百八十六期の歴史~~ ~~カ百八十七期の歴史~~ ~~カ百八十八期の歴史~~ ~~カ百八十九期の歴史~~ ~~カ百九十期の歴史~~ ~~カ百九十一期の歴史~~ ~~カ百九十二期の歴史~~ ~~カ百九十三期の歴史~~ ~~カ百九十四期の歴史~~ ~~カ百九十五期の歴史~~ ~~カ百九十六期の歴史~~ ~~カ百九十七期の歴史~~ ~~カ百九十八期の歴史~~ ~~カ百九十九期の歴史~~ ~~カ百期の歴史~~

蘇維興期中を去りて有名な史家サイモンツの区方法で、凡そ五期に分けし見る。

カ一期は歴史以前期、又は傳説期、又は英雄期 (Heroic period) と呼ぶべきもので紀元前七百年、カオリムピアド (Olympiad)

期以前<sup>前</sup>をいふ。オリゴピトはオリゴピ  
 鼓技祭の~~ち~~。四年毎を一期とし年月を記す  
 るギリシア人の記年法である。オリゴピトの  
 一オリゴピトから起~~る~~。算せられたのである。  
 以期を教ふるはホーマーとヘシオド(Hesiod)  
 の叙事詩である。

二期は右の叙~~る~~。詩時代から後のアゼン文藝  
 の時代に属する過渡期で、紀元前~~の~~七~~百~~

七~~百~~年から四~~百~~七~~十~~年アゼン~~の~~  
 聯邦の成をよんである。真の歴史は此の  
 に始まる。このときが精神の方面では、抒情  
 詩~~の~~。諷刺詩、教訓詩、おそろいの歌、戯  
 曲の萌芽、神話研究に基~~く~~。文学~~の~~。同~~じ~~  
~~の~~。が~~出~~。現~~れ~~。し~~は~~。じ~~う~~。に~~は~~。次~~の~~。時~~代~~。の~~歴~~。史~~の~~。編~~纂~~  
 をい~~ふ~~。ことである。

三期は即ちアゼン全盛時代を記す

前回の七十七年から七十八年アゼエスの  
 権の力の衰へるまで、然るに  
 はアナクサゴラス (Anaxagoras)  
 ソクラテス (Socrates)  
 チーレス等が出

で歴史にシムリダエス (Thucydides 471-  
 400 B.C.) の出で、  
 辯術の研究せしむる  
 までもなく、  
 大戯曲家  
 の出で、彫刻に  
 プラタナス等が出

このも凡そ此期である。  
 は此曲時代を中として  
 終る。

万四期は前の全盛期が後の衰へる  
 に入ると、  
 即ち此記え前回の七十三年  
 から七十四年ニシテ、  
 七十四年の死と共に  
 七十五年の死と共に

Plato Aristotle  
プラトとアリスト  
を高く尊んで ~~あつ~~ あつては、研究の思  
業は漸く跡を絶ち、且ギリシアの文明が刻る  
の大切なもの (アレク、エグ、70) 等の外国に播  
布せしむ。懐法は軍の方るに大なる括帯を促  
さんとし思へる時代である。  
この期は三二二年からギリシアの亡ぶまで  
の衰亡期である。此期は文化の中心があの

づから二つに下れる。一は依然 ~~ア~~ アゼニス  
を中心とした ~~ギリシア~~ 文化。二は ~~ギリシア~~ ギリシアの  
字の ~~ギリシア~~ 傳統を保つと昔にストア字派  
エピキュラス字派が後にキリスト教の  
思想の金を拓く ~~ギリシア~~ 端を  
把ちし。又は ~~ア~~ アレクサ  
フト ~~アレクサ~~ (Ptolemy) 五



を肆くは末の青都アノキナトニ子 Alexander

Nico) 直中ノキナトニ子ニ文化の基を之と云ふ

(Nico-Ptolemaios) 蓋し其の國志の記述に於て

ラトノ神教哲學の基を之と云ふ

諸種の學術をもちき基礎を

け地に据えよと云ふ。併しちがら要するにけ期

を最後とす純粋なギリシア文化は基礎

掃蕩の自國の根柢を失ひて他國に於て

其文化の精華を括する

要素と云ふ一存在するに在り。所謂  
過へニスル即ち是なり。

(8 Studies of the Greek Poets, by J. A.

Symonds, vol. I, P. 3-5)

(一) ゼーシアの傳説文學及宗教

(二) ホーマー其の詩の

ギリシアの傳説文學は Homer と Hesiod と

そのころの文化が、~~大分~~。伯父は

~~神話として見た~~。神話として見た方

ることも、~~そのころの文化が~~。

~~そのころの文化が~~。其之を

とこの方向はホーマーの最もよく代表

せし、~~そのころの文化が~~。其之を

おもしろく、~~そのころの文化が~~。其之を

~~そのころの文化が~~。其之を

ホーマー以前の神話の影を足さずよと言

得る。

そのころの文化が、~~そのころの文化が~~。

そのころの文化が、~~そのころの文化が~~。

そのころの文化が、~~そのころの文化が~~。

そのころの文化が、~~そのころの文化が~~。

そのころの文化が、~~そのころの文化が~~。

そのころの文化が、~~そのころの文化が~~。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO  
~~Chambers~~ (Chambers, and Nelson's Geography)

(Pomer) ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

(55) ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~ ~~Chambers~~

彼の他の研究は ~~...~~ 大抵の如くである。

ギリシアの ~~...~~ 強きといはれるもの (トシキ)

トリアのなる珠に ~~...~~ (P. 212)

司の注解考定から付するに付する ~~...~~

オテ ~~...~~ の形をきめて ~~...~~ 西化の某

行本は ~~...~~ のと ~~...~~ ありて

Chapman ~~...~~ の古 ~~...~~ 十数

他の上 ~~...~~

さて ~~...~~ トロイ戦争の物語である

しオ ~~...~~ ~~...~~ の

勇 ~~...~~ ~~...~~ の

輪 ~~...~~ ~~...~~ の

る ~~...~~ ~~...~~ の

Thy ~~...~~ ~~...~~ の

はオ ~~...~~ ~~...~~ の

来 ~~...~~ ~~...~~ の

名からテにてたすア、名はAngelo

イリアードの~~物語~~はかのスミルタ、王

ナウラオス  
~~の物語~~が日々に

王を抱いて御座を死す時王は<sup>Paris</sup>ハリスト Paris

がスミルタの王地へして (Hellen) をアスミル

奔らざるスミルタ王の復讐を死

し、ギリシア軍聯合して山にイを圍むに至

つゝ其最後の一時期の物語はギリ

シア軍の総大将アカメムリン (Agamemnon) と

アカメムリンの勇将アキレス (Achilles) との事

判じを用く、即ちアカメムリンが或婦の娘を奪と

して、歸さぬたが常がアホに神に

祈りギリシア軍に疫病を下す。之をアホ

アホに神は懲らしめ、アホはアホに

放逐せよと勅め、アホはアホに

其意を還すたうアキシスの事を自分  
 存よとまじす、アキシス大に結つて己の陣に退  
 いて出陣、以西勇士の軍が物倍中の  
 如りひきこる。初て全部二十四巻、百五千たる  
 九中三行つて退び之を三部に分けて見ると初  
 一はアキシスの引退かろギリシア軍が不利で  
 引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ  
 引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ

アキシスも陣を退び、アキシスに引退かろギリシア軍が不利で引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ  
 リンセスが初めたるアキシスを誘致後々かたの勇士の陣を退び、アキシスに引退かろギリシア軍が不利で引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ  
 有名なる、初は十八巻、アキシスの友人の勇士が彼の甲冑を縛り討死す、アキシスに引退かろギリシア軍が不利で引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ  
 出陣、アキシスに引退かろギリシア軍が不利で引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ  
 倒し、アキシスに引退かろギリシア軍が不利で引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ引退す、アキシスに出陣を頼むまじひ



す、神人の区別の態、少なり、

~~形、其の清純~~ 其の清純

な、~~古文的趣味と~~ 古文的趣味と、次に精練

せ、~~此の~~ 此の世代的趣味を弄んず、

直主陳のミニパー、~~此の~~ 此の活田高調快

速 (Cupid) 思ふ平の (Plain in thought)

~~其の~~ 其の (Plain in diction) 高

其 (Noble) を、~~此の~~ (A comparison to

Greek statues "P. 91")

を ~~保~~ 保その人、~~其の~~ 其の

アキレスとテリツセスにギリシアの代々の人物

の二才のを、~~此の~~ 此の、早チアキレスに於て是

理、~~其の~~ 其の、~~其の~~ 其の、~~其の~~ 其の、~~其の~~ 其の、

其の、~~其の~~ 其の、~~其の~~ 其の、~~其の~~ 其の、~~其の~~ 其の、



と此に配せしむる猛烈な情熱、其の婦人  
の妻方にも懐石を交情と愛と、其の若  
中かた人生の光輝とよおさむる其の色  
つき。

~~Shakespeare~~ ~~Vol. I. P. 8~~ オマ〜エーリッセスに於て

目、歴史に記さるる實在の人物の模範と  
しむる色なき、あまんとするに強烈な  
志をもち、情熱の情に遠る果會釈

なく、~~志~~志をもちしむる哀情なく、  
敏で、~~後~~後継の念強し、~~冒~~冒険心  
猛烈に属す、雄弁の力あり、思

慮賢明で、危険に望んで勇敢な諍ひあ  
る。此の今に傳つてゐるギリシア人の實際  
の性格である (『Studies of the Greek Poets』

by J. A. Symonds. Vol. I. P. 8-9) ~~た~~たは  
③ 七十九頁ありる ~~七~~七五に於て ~~七~~七五

~~その~~ ( ) の 案を 参り 照らす の よい

カハ、( ) ( ) ( ) の ギリシアの 理想的  
美人が 描き出されたこと、即ち 徳世が 肉体的の美  
と共に 冷靜なる 精神、妻孥と 惜念を  
抱つてゐるから ホーマーに 足らぬ。美と 共に  
金ギリシア 文学を 通じて 又もと 徳世は 最も 美  
に、又 最も ( ) も 一般的に、何人にも  
羨望し、何人にも 属して 又何人にも ( ) 因  
に、何人にも、何時までも 充たせられ

すれども、不幸な 徳世には 福しき  
女世に 出来ぬ。 ( )  
( ) ( )

ホーマーの詩には 一定の 方向の  
なくして、善悪 両方 兼て 描き  
出さる。英雄の 美徳を 且 缺は  
古く 猛烈性を 且 哀情性をも  
同一の 直線が 果てに 描き、  
理想の 標準に 是れを 示さず、

この文は神話のミューズの神話を扱った  
論文の外部の目的を有せしめ

~~History of Greece~~ ('History of Greece')

My Guide Vol II. P. 209) 神話の書から

のあたりに作られたもの、  
神話の自然は神話の本質(この意味で)  
これは古代の文字の多岐にわたる(たいてい)  
ピトのアキシスが楯の記号の所、  
神話の本質は神話の本質(この意味で)

オシリスの神と神話の神話の神話  
神話の神話の神話の神話  
My Moulton P. 132)

(b) ギリシアの神話と宗教

神話の神話の神話の神話の神話  
非人 (G. J. G. H. H.) の物語を  
この神話の神話の神話の神話の神話



神河神々 (Daijingu) の階級を化す。然して  
 人君世氏高尊の~~階級~~を果敢するに至る。要  
 す。神河神々~~の~~階級~~を~~示現的状態の  
 と~~神河神々~~の~~階級~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 所 (Asbelief in Spiritual Being) ~~の~~ ~~存在~~  
 と~~神河神々~~ (Primitive Culture" Vol. I, P. 424 -  
 427) by Tylor.

而して~~神河神々~~の人民は~~神河神々~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 一と~~神河神々~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 老く~~神河神々~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 山川の~~神河神々~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 神を~~神河神々~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 言ふ~~神河神々~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 神河神々~~の~~階級~~を~~示現的状態の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 神河神々~~の~~階級~~を~~示現的状態の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 神河神々~~の~~階級~~を~~示現的状態の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~  
 神河神々~~の~~階級~~を~~示現的状態の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~の~~存在~~

物語が神話に外ならない。斯く神話と宗  
教と歴史系は元々連なる。のみにて結果  
の於ては連環する。馬より神話の終と結  
作して實際の~~神話~~<sup>歴史</sup> 宗教の崇拜を生ず  
るに云々。例一は<sup>神世</sup>~~神話~~ 太陽を拝する。原を伴  
却め、神話の神話の状況に好しとす。  
し。

此に神話の解釈方々。元々古事記の

の又解の~~本~~ (Interpretation of Myth) (1)

は Myths as Allegories of Nature 寫

意流でソラテス其他古代の<sup>Interpretation</sup> 解釈のしえ

神話の~~本~~ 了件を用て自然現象の寫に

神話の~~本~~ 下をいふて風や水や地や太陽

や火や星やが~~本~~ 形に寓して神は

神話の~~本~~ 自然現象の寫に

の解表の真例である。併し此解表では他  
の如く理より感重視を随へて其形を以て説い  
るとある味がある。此等七匠に於ては  
~~神記~~ 神記は其の如く  
了後世である。神記は其の如く  
を以て撰ぶるべきなり。(二) Mythos

History: Euhemerism 史記説古前古の如く  
其の方面の題目を説くものにして其の如く  
其の如く説くは其の如く。其の如く神記は

の如く神記は其の如く。其の如く神記は  
の如く神記は其の如く。其の如く神記は  
の如く神記は其の如く。其の如く神記は  
Euhemerism 史記説古前古の如く





の如く神記は其の如く。其の如く神記は  
の如く神記は其の如く。其の如く神記は  
の如く神記は其の如く。其の如く神記は  
の如く神記は其の如く。其の如く神記は

の要するところ神話の重なりが  
もあつたことがよく分る(三) *Language*  
*Philology*

~~Text~~ Theory of Myths, *Imperial*  説

けさうして *Mythology* の説を説くに程な

海老子の神用ひし書との比を馬ち神話

上の     の体はよく言ひつる處あり

生しつゝに殊にそ語の誤謬を尋ねる

本 記 *Disease of Language* のこと

乙事 例一 *State* の語に就いて *State*

是に *State* の語を通ずるに *State* の語を

神人の名にたると *State* は之信 *State*

ゆかり其名詞の人と *State* なる *Social*

*Mind* の邊り      子

の *State* 此 *State* 一 *State* 一 *State* 一 *State* 一 *State* (一)



The History of Survival 残存記  
 (K) 代の歴史の中心は神と神の中心  
 として人類の歴史の中心として  
 現代の人は見えてくるもの社会物は  
 史書に記されては居るが、  
 足るに神の中心の神の中心  
 格を記しては居るが、

And Rome, by Arthur Fairbanks  
 (The Mythology of Greece  
 P. 8-106.)

一は其の神話の中心は神と神の中心  
 として人類の歴史の中心として  
 現代の人は見えてくるもの社会物は  
 史書に記されては居るが、  
 足るに神の中心の神の中心  
 格を記しては居るが、

葉を地と行々よら去て来る

例へば

*Dynamis*

のせ他が流るる

方々より集

るる葉

つやう神話の一方か



と出ても諸地方のあにありて地を伝へる

のひもすべは斯く神話の傳へるも其

の性態を能く其地方の民族の書に由るわ

うに書せし且つ解るる骨格のあり


の普遍性を疑ふべしと云ふべし

形  葉の葉が加へりて  葉の葉

普遍性を以てたてると其の中より神々

を以てて同様にありて同様に其の神々

神々の間にある神々の出来に事  葉の葉

下 *Theogony*  葉の葉 *Shield P.*

22-23)



Mitoma / ... 神の自由の神々  
神の自由の神々、神々の  
神々の自由の神々、神々の

神々の自由の神々、神々の  
神々の自由の神々、神々の

神々の自由の神々、神々の  
神々の自由の神々、神々の

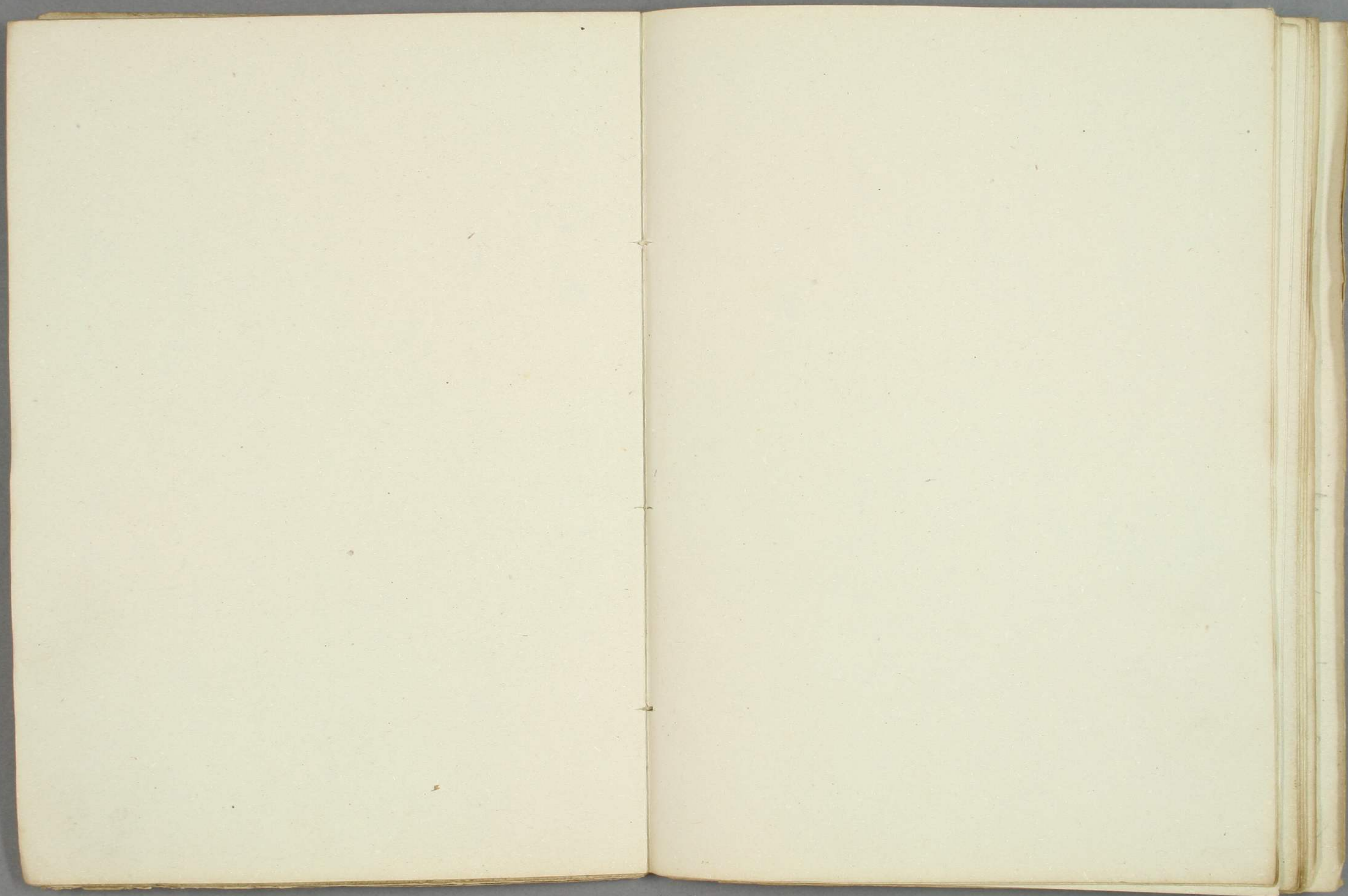
神々の自由の神々、神々の  
神々の自由の神々、神々の

神々の自由の神々、神々の  
神々の自由の神々、神々の

神々の自由の神々、神々の  
神々の自由の神々、神々の

11 years of ...  
The Mythology of Greece  
Pomeroy by A. Fairbanks  
(P. 64 - 87)

えまの Greek の Mythology の 神々の自由の神々、神々の  
えまの Greek の Mythology の 神々の自由の神々、神々の



(四) ガリシアの文藝

(a) ガリシアの音楽、繪畫、建築。

曲


アゼン代を中心

け等の語彙の中、ガリシアを代表するものは、

おひまは、曲、その位、建築、

他の、~~曲~~、おひま、に、~~曲~~、音楽


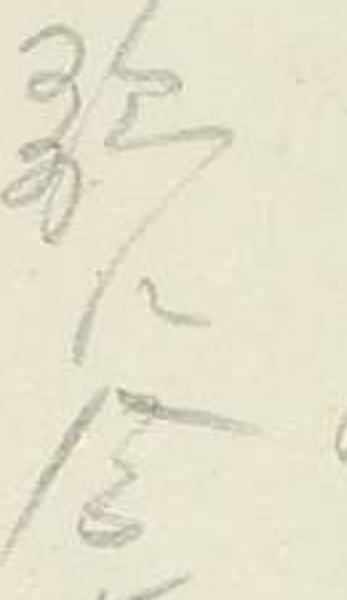

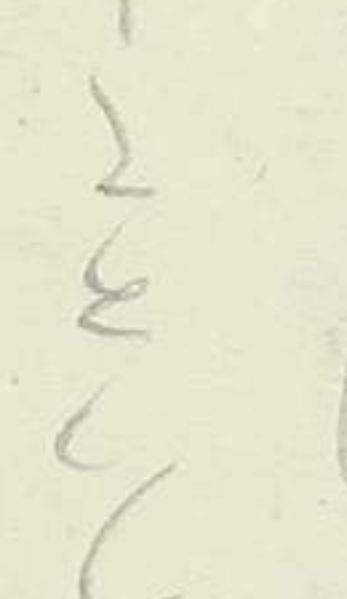


の、おひま、拍子、~~曲~~、Pitch、~~曲~~

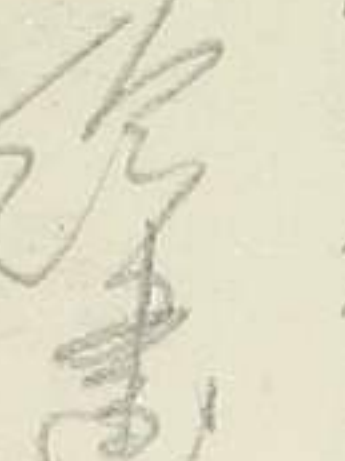






枯木竹葉 乙あるものより、  
福者 

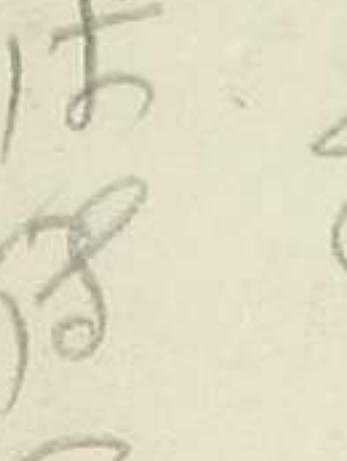
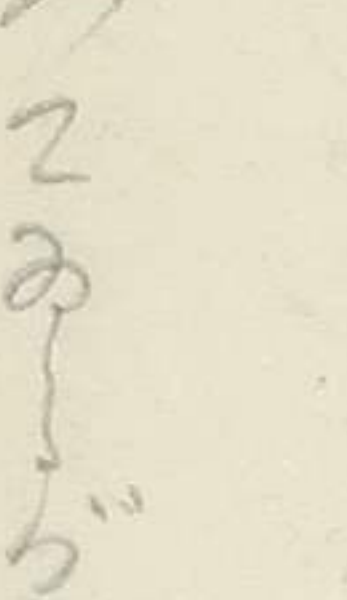
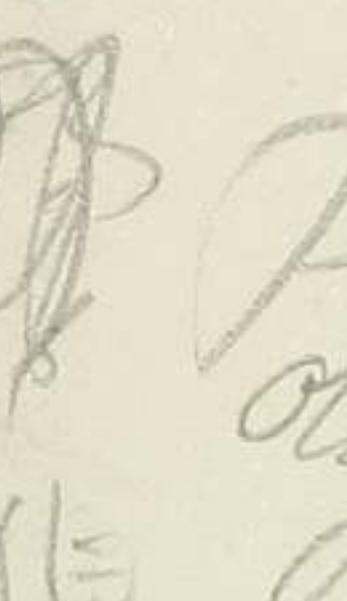
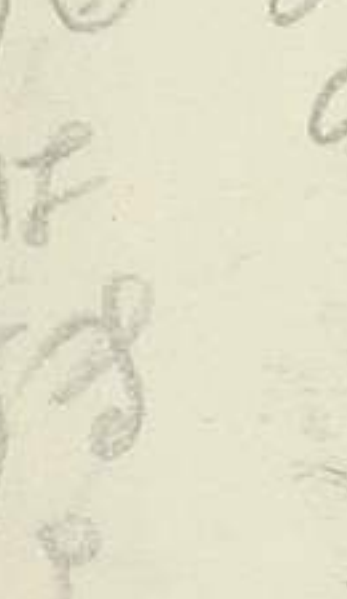
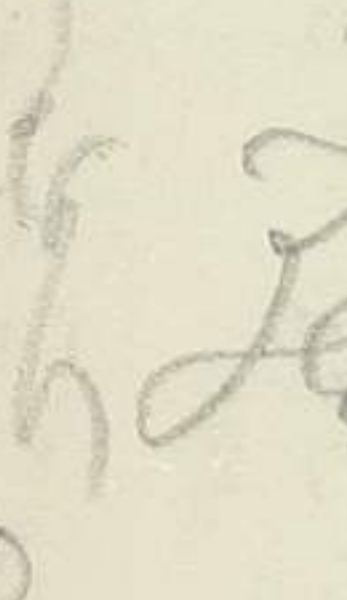
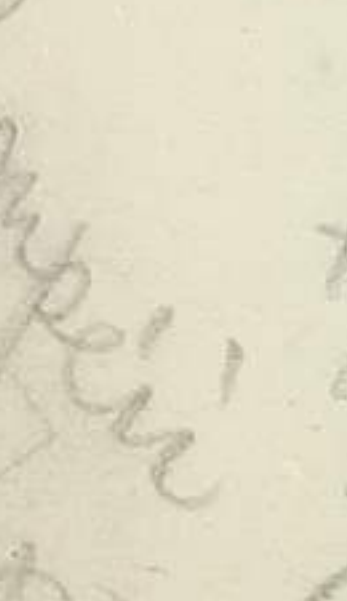
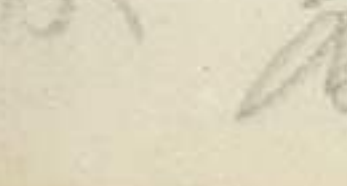
全く  

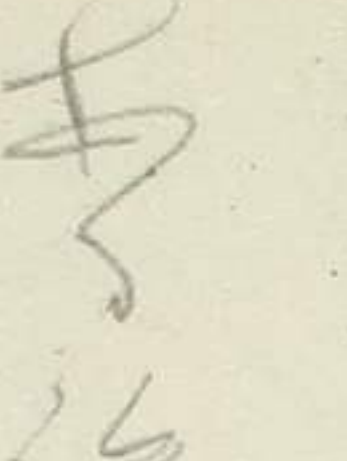
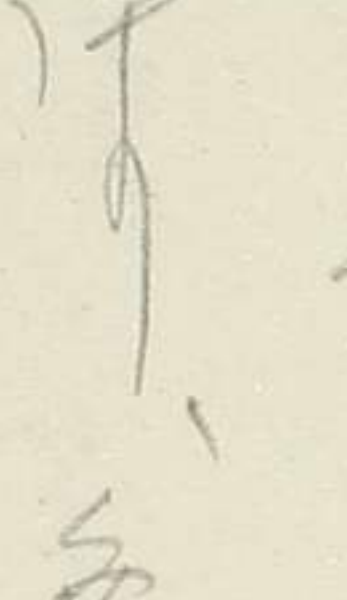
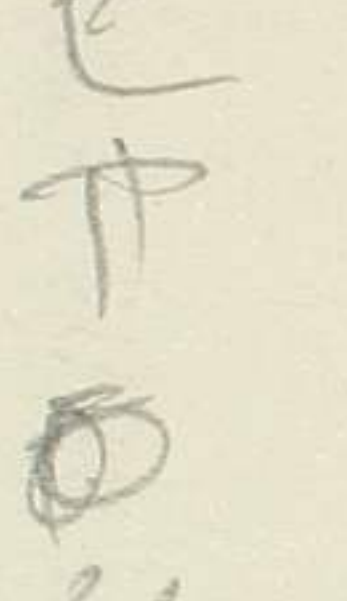


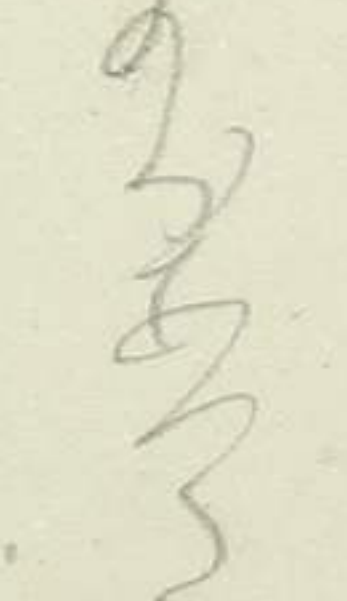
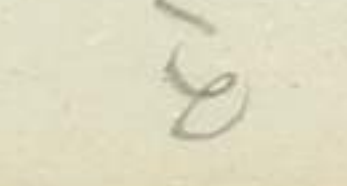
乙を       

後述       

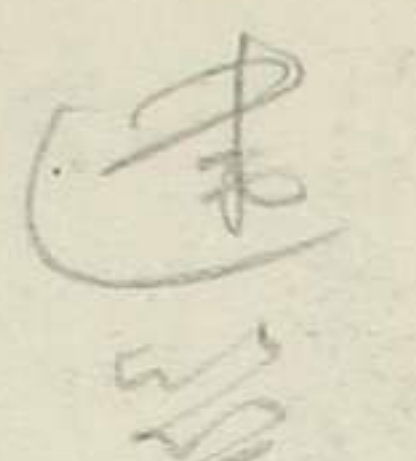
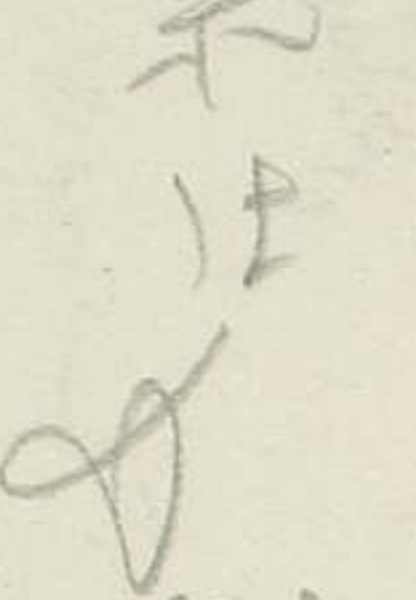
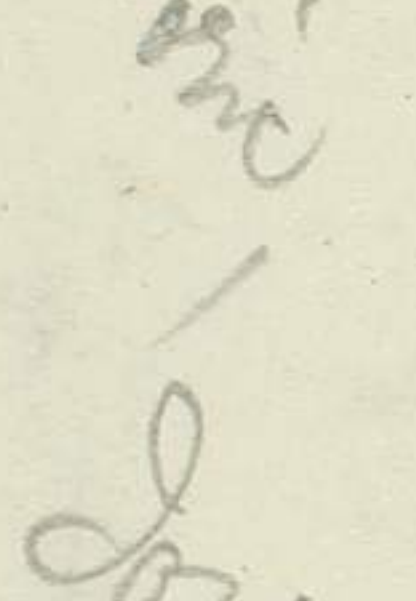
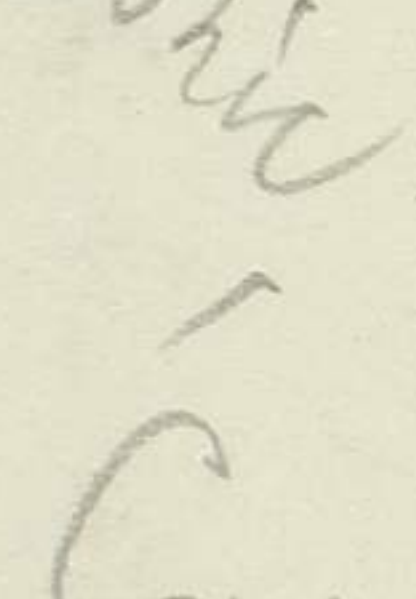
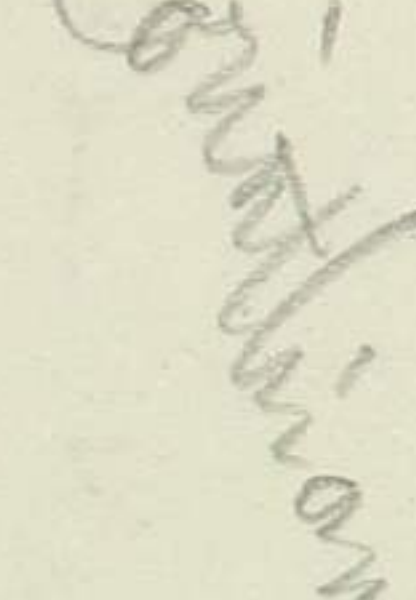
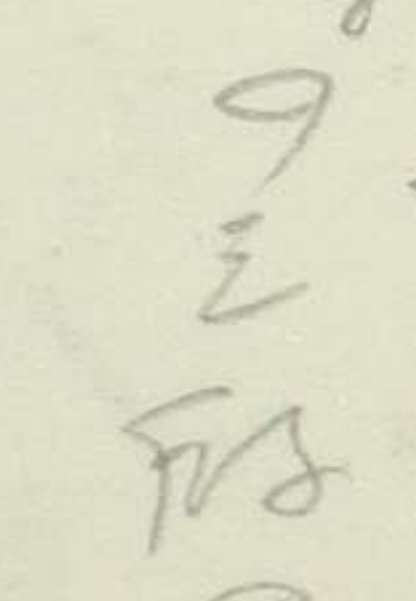
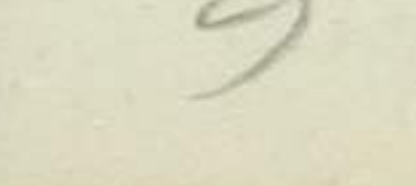
は       

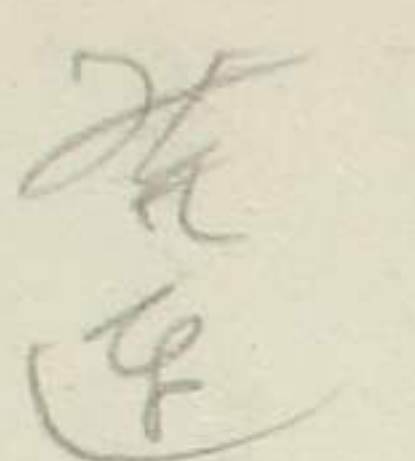
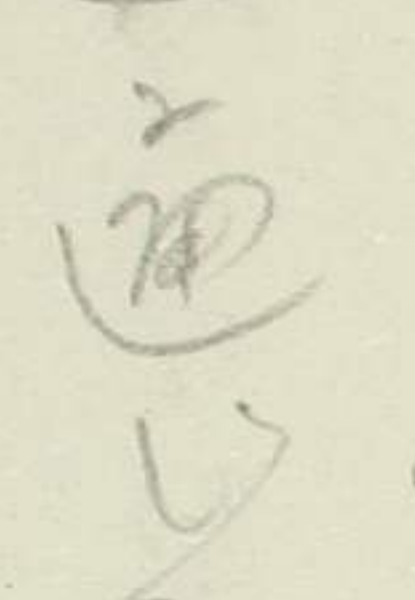

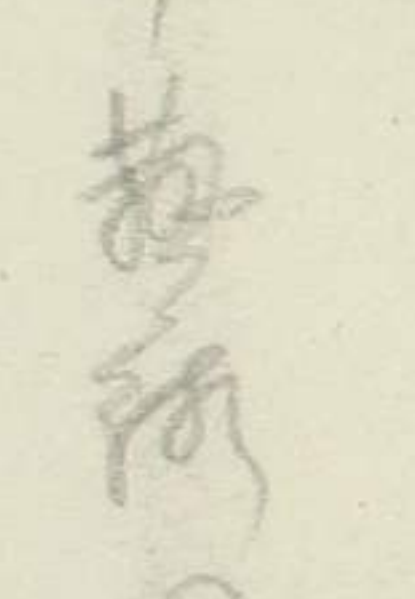
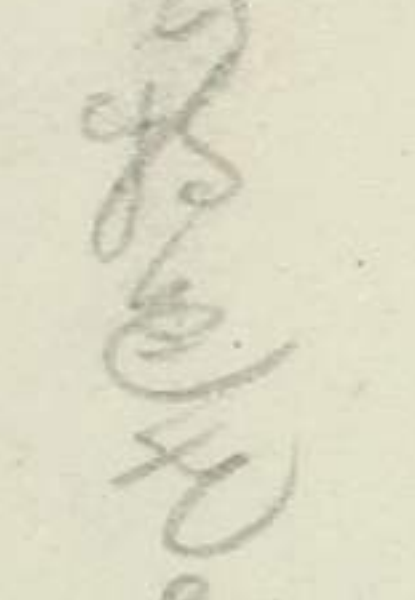
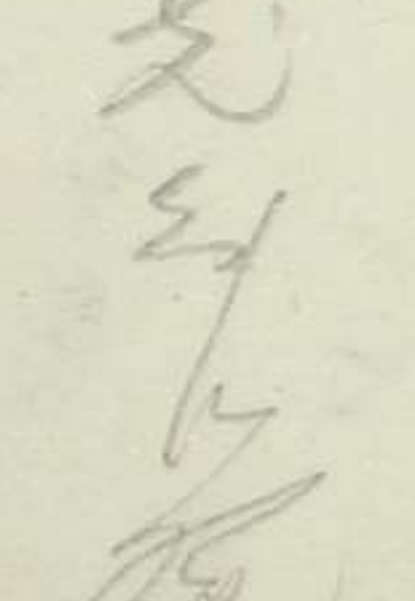

と       

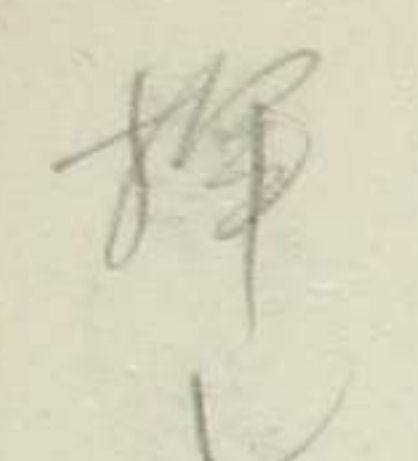
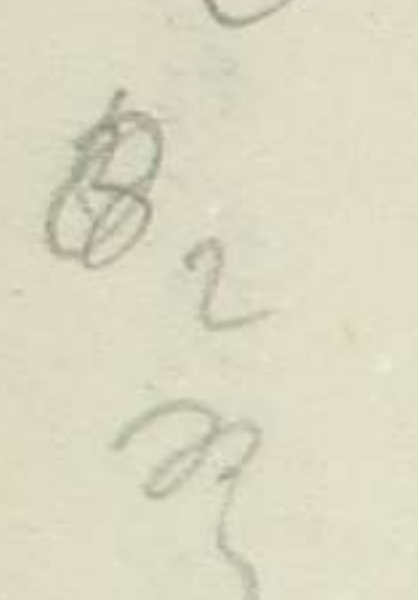

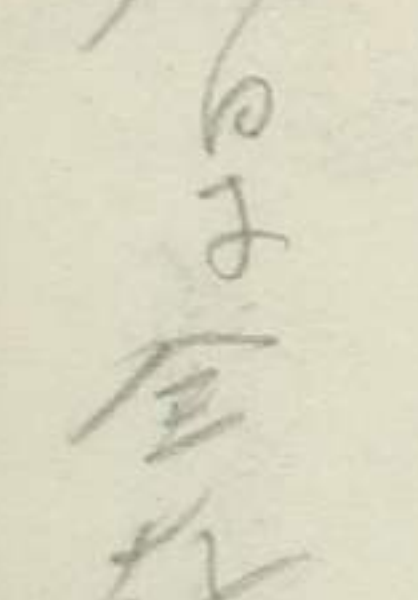
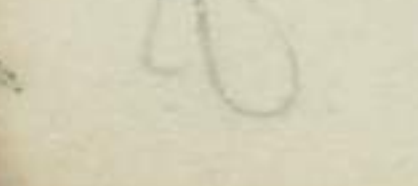
か       

ある       

は       

葉       

葉       

揮       

たし又後世の建築を如利し、もギリシアに下りて  
ありや又カーン・パウルスの模倣で美にあり  
いふのもあてきば、ギリシア建築の王座  
夫の *Parthenon* 廟堂であつたが、是れは建築の  
ものから装飾して、破風をとりて、  
のちからあつた。

ギリシアの彫刻は、政治の文学の中心をとり、  
のちから代をとりて、  
*Phedrus* *Phedrus*

*Praxiteles* / *Lysippos* 等の巨匠は、如く、  
く、其傑作は、  
事なり、  
さし、  
文学の如く、  
のちから、  
現代の如く、

事なり、  
さし、  
文学の如く、  
のちから、  
現代の如く、  
のちから、  
現代の如く、  
のちから、  
現代の如く、



了。"Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
as in the other parts of the work. ~~of the soul is in the same way~~

~~of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way~~  
Clear, simple, harmonious, typical  
of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way

for Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
both something intrinsically worthy of  
expression. Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way

of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way  
of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way

"Life in Ancient Athens" by Tucker P.  
295-299

of Aristotle's method of the color of the soul is in the same way

カールマルクスは、  
「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

「資本論」の著者として知られる。

Tragedia は Goat song といふに過ぎない

Tragedia は Drama といふに過ぎない

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Tragedia は Drama といふに過ぎない  
Drama は 演劇  
Things performed

Answerer

Handwritten notes on the right side of the top page, including the name "Dorian" and some illegible scribbles.

Festival is the first of the month of the year...

Handwritten notes, possibly including the name "Pharmacia" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Plate" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Bacchus" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Bacchus" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Gilbert Murray" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Pan" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Bacchus" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Strophes" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Antistrophe" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Answer" and other illegible text.

Handwritten notes, possibly including the name "Pector" and other illegible text.

演劇の解説として、踊り、歌、舞、劇、演劇の

の分類として、十八人の dancers の

あつた外に二人の Amateurs と一人の Chorist

が成つた。その二十一人は、組員として、劇

Satyr 劇の四組である。詩人の Chorus

Choregus の役を演じた。その Choragus

即ち市民が費用を出して、Chorus を

たもつた。その舞の世の、劇の、舞の、

あつた。その Pedagogue, Episodion, Stodas

の、舞の、その Chorus は、その

その、舞の、その Chorus は、その

その、舞の、その Chorus は、その

その、舞の、その Chorus は、その

その、舞の、その Chorus は、その

Satyrical drama は Tragedy & Comedy

中身で、その舞の、その Chorus は、その

種のマナーの從てりて此の世前も此に  
此の劇は唱詠(キ)のなりやうな  
Chouの

は是劇は秋夜南のたかしの

たの歌をたかしのたかしのたかしの

myou 等とはたかしのたかしの

たかしの Komoi 等

Revel bands 等  
~~myou~~  
Ko Komoidia

たかしのたかしの  
Komoi 等  
Revel bands 等

たかしのたかしのたかしの

たかしのたかしのたかしの

Chomo 等

たかしのたかしのたかしの

Deschamps 等  
525-456 BC  
たかしの



早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

早稲時であつた所し、或は、  
早稲時であつた所し、或は、

Supplement-Women (D. J. K. 1),

~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Supplement-Women (D. J. K. 1),

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~

Parsons; ~~Parsons~~; ~~Supplements~~









Antigone is ~~Antigone~~

~~Antigone~~ Antigone Delius to King

Delius of Colonus & Pentagone (Hittite)

Delius of Colonus Delius of Pentagone X

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes

Electra is the sister of Orestes





135子せあ(中)ひま

Electra

18夜にイースタース、ソフタクリーズと送るよん

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

~~1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく~~ 送るよん

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく

1た、Fシクトウをぬいソフタクリーズと(中)いく





Clouds; Birds; Frogs; Wasps;  
Bees; Hydrata; Monophora;  
Insects; Zoölogia; Plants.

Clouds, Birds, Frogs, Wasps, Bees, Hydrata, Monophora, Insects, Zoölogia, Plants.

Clouds, Birds, Frogs, Wasps, Bees, Hydrata, Monophora, Insects, Zoölogia, Plants.

Clouds, Birds, Frogs, Wasps, Bees, Hydrata, Monophora, Insects, Zoölogia, Plants.

Character work of

Memander

Whitney P. 293

II P. 150 併し 併大なるを

併し 併大なるを 併し 併大なるを

併し 併大なるを 併し 併大なるを

併し 併大なるを 併し 併大なるを

Symonds

II P. 150

併し 併大なるを 併し 併大なるを

併し 併大なるを 併し 併大なるを

併し 併大なるを 併し 併大なるを



此即... 托... 托... 托... 托...  
 托... 托... 托... 托...  
 托... 托... 托... 托...  
 托... 托... 托... 托...

(242-291) <sup>BC</sup> Phylloporon ( )  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

(2) X = ...

(a) 終り

アセリンの...

年々...の...の...の...の...

アセリンの...の...の...の...

同...の...の...の...

の...の...

